

ゼロトラストセキュリティ

– Zero trust security model–

Shishio Tsuchiya








shtsuchi@arista.com

ゼロトラストセキュリティを改めて

- 社内外問わず**何も信頼せず**常に検証し対応する

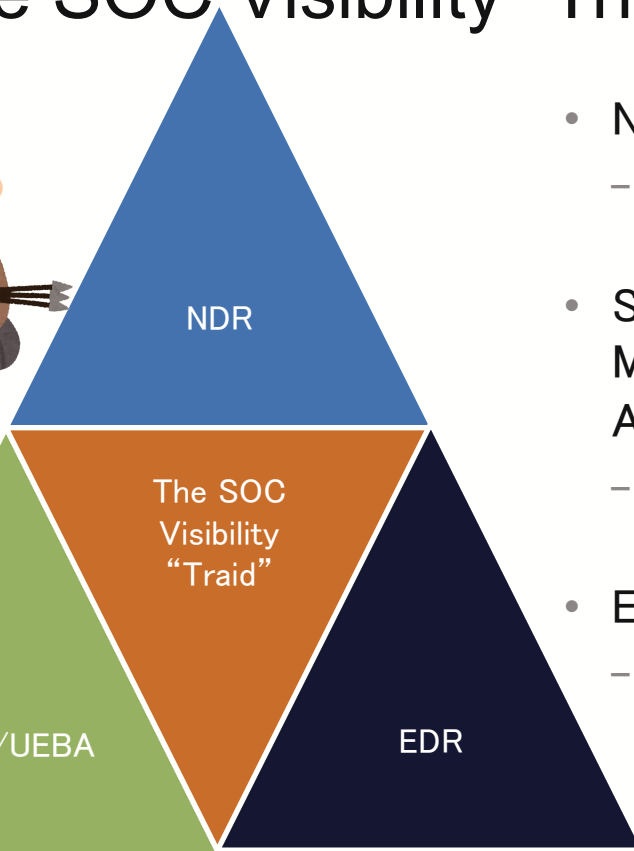
– 2020 Forrester Research ,John Kindervag

図表2: NISTによるゼロトラストの考え方

| | | |
|---|---|---|
| 1 | すべてのデータソースとコンピューティングサービスは リソースと見なす |  |
| 2 | ネットワークの場所に関係なく 、全ての通信を保護する |  |
| 3 | 企業リソースへのアクセスは、 セッション単位で付与する |  |
| 4 | リソースへのアクセスは、クライアントID、アプリケーション、要求する資産の状態、その他の行動属性や環境属性を含めた 動的ポリシーによって決定する |  |
| 5 | 企業は、全ての資産の整合性とセキュリティ動作を 監視し、測定する |  |
| 6 | 全てのリソースの認証と認可は動的に行われ、 アクセスが許可される前に厳格に実施する |  |
| 7 | 企業は、資産やネットワークインフラストラクチャ、通信の現状について可能な限り多くの情報を収集し、それを セキュリティ対策の改善に利用する |  |

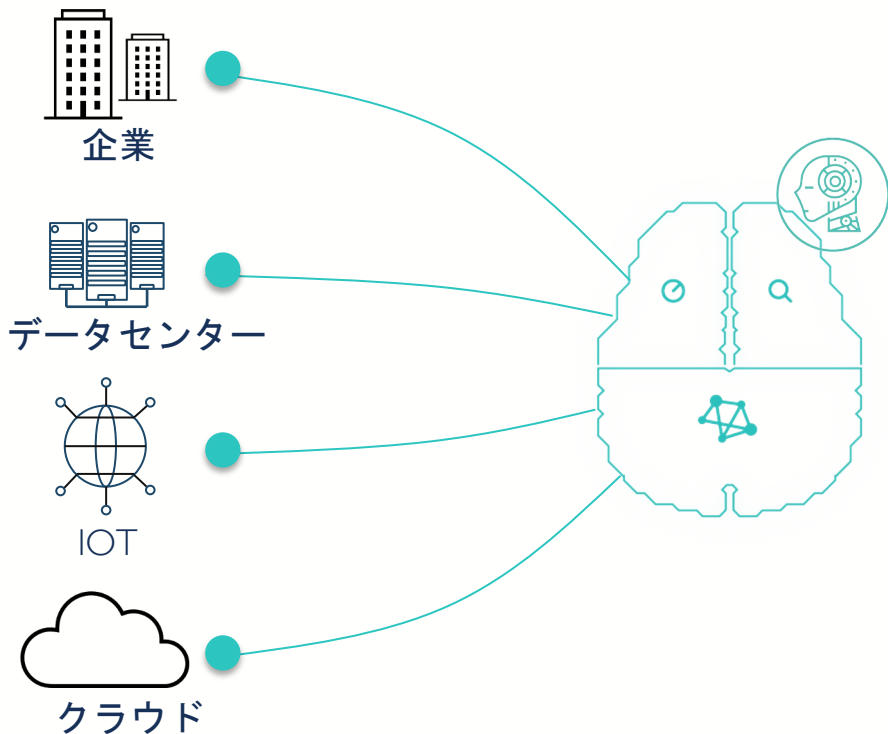
NDRが
必要

The SOC Visibility “Triad”(SOC可視化トライアド)








- NDR(Network Detection and Response)
 - ネットワークを包括的に可視化をし、脅威や不審な振る舞いを検出し、未然に対応する
- SIEM(Security Information and Event Management)/UEBA(User and Entity Behavior Analytics)
 - ITインフラ、アプリ、セキュリティツールが生成するログの収集と分析
- EDR(Endpoint Detection and Respons)
 - パソコンやサーバー(エンドポイント)でのプロセス、メモリ状態、動作設定などを分析

NDRにおけるAI/MLの活用





- 全てのネットワーク機器よりパケットを収集
- デバイス/ユーザ/アプリをプロファイリング追跡
- 複雑な脅威を検出
- トリアージ,調査,レスポンスを自動化

NDRが検知/対応したユースケース

| ユースケース | 業種 | 状況 | 結果 |
|--------------|---|--|---|
| 標的型攻撃の検出 | 銀行・証券系企業  | AWS管理者のログイン情報が盗まれ、自社のクラウド環境への不正アクセスがあった | 不正なChromeエクステンションが使われ、ログイン情報を含むブラウザの情報が盗み出されていたことが判明 |
| ランサムウェアによる攻撃 | 製造業  | ランサムウェアが企業内のある地点から社内へ拡散 | ラテラルムーブメントを検出し、対策を講じることで影響を最小化 |
| 内部の人間による不正 | 一般消費者向け金融業  | IT契約社員が、IP電話の通話を不正に録音し、社外に持ち出していた | NDRによりIP電話を特定、通常と異なる動作を検知、暗号化された録音データの社外への転送とそのデータへのアクセスを発見 |
| 企業スパイ | エネルギー  | 数千台のIPカメラを含むネットワーク上のすべてのデバイスを自動的にプロファイリング、他のカメラが通信していない送信先と通信している1台のカメラを検出 | 問題の送信先と同じ送信先にFTPアクセスした複数のデバイスを特定し関係IT業者の所有のデバイスであることが判明、データセンタや重要インフラに設置されていた |
| 知的財産漏洩の内部犯行 | 放送会社  | 電子メールによるファイル送信頻度は低く、データ量も少ないため従来仕組みでは見つけることが難しかった | 同じ様な業務、類似したデバイスやユーザと比較して、Low and Slowでありながら特定のデバイスやユーザが異常であると判断し法的措置へ |

NDRが検知/対応したユースケース

| ユースケース | 業種 | 状況 | 結果 |
|----------------------|---|--|--|
| リモートデスクトップのハッキング | 政府、自治体  | 米国の浄水場の制御システムにロシア製RDPソフトウェアがインストール、定期的に通信され部外者にアクセスできる状態であることを NDRにて検知 | セキュリティパッチが適用されていないWindowsサーバーが存在していることを警告し事態を迅速に修復した |
| 産業システムへの不正アクセス及び情報漏洩 | 石油天然ガス企業  | SIEM,EDRを導入していたが、繰り返し発生する不正アクセス、侵入行為の原因特定が困難であった | NDRによりEDR、SIEMでは管理できなかった2週間に一度アクセスするメンテナンス業者のデバイスを検出した。経過監査、トラフィック調査からHMI(ヒューマンインターフェイス)システムや複数のSCADA(産業監視制御)デバイスにアクセスを確認しサイバー攻撃と判断した。その後APT28として知られるロシアのサイバー攻撃グループによるものと判明した。 |

まとめ

- ゼロトラストアーキテクチャーを実現するNDRおよびそのユースケースを紹介
- ネットワークとAI/MLで追跡/脅威を検出し対応する

参考URL

- NIST SP800-207 「ゼロトラスト・アーキテクチャ」の解説と日本語訳
 - <https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/column/awareness-cyber-security/zero-trust-architecture-jp.html>
- ゼロトラスト・セキュリティモデル(Wikipedia)
 - <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BC%E3%83%AD%E3%83%88%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%BB%E3%82%BB%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%A2%E3%83%87%E3%83%AB>
- Awake Security Demonstration
 - <https://www.youtube.com/embed/5D4Y2V3eOEw?rel=0&wmode=transparent>



Thank You

www.arista.com